

じょうぎによらいさいほうじ

定義如来西方寺

人々の心の拠り所であり続ける平家ゆかりの寺

定義如来西方寺は地元の人から「定義さん」と呼ばれ親しまれている古刹です。今から約800年前の平家滅亡の際、落武者となってこの地に逃れてきた平貞能が名前を「定義」と改めたことから、この地を定義(じょうぎ)と呼ぶようになったと言われています。貞能は平重盛から預かった阿弥陀如来の宝軸を

安置するため堂を建て、貞能の没後、従臣である早坂氏が西方寺を建立しました。境内には、貞能の墓所の上に建つ御廟貞能堂などの国登録文化財や仙台藩第31代藩主伊達邦宗公の夫人が奉納した白梅、五重塔や美しい庭園など、見どころがたくさんあります。

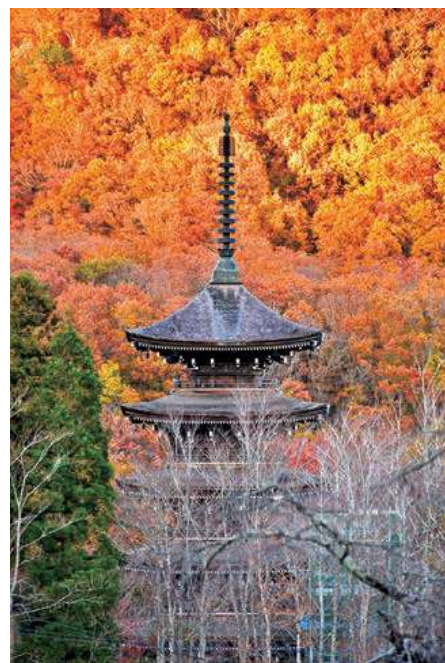
万緑の眩しさに解くみくじかな
西方寺のあらかた終る雪囲ひ
山田史子 星節子



▲大本堂(撮影:河本悟)



▲木々に囲まれた御廟貞能堂



▲紅葉と五重塔(撮影:阿部篤)

ひとことメモ

安徳天皇の冥福を祈る天皇塚に残された大きな根は、塚の上に植えられた2本のケヤキが1本の木のように結びついたもの。縁結びのご神木とされています。

アクセスガイド

仙台駅西口バスプール14番のりばより仙台市営バス844、845系統「定義行」に乗車、「定義」下車すぐ

- 所在地：青葉区大倉字上下1
- TEL：022-393-2011

青葉区マップB



青葉区

宮城野区

若林区

太白区

泉区